

月例統計報告（令和2年11月）

令和2年11月30日
企画振興部

1 秋田県の人口 （秋田県の人口と世帯(月報)（令和2年11月1日現在））	1
本県の総人口は、951,083人（男 447,357人 女 503,726人）	
前月に比べ、922人（0.10%）減少	
自然増減 902人の減少（出生者 370人 死亡者 1,272人）	
社会増減 20人の減少（県内への転入者 773人 県外への転出者 793人）	
この1年間では、13,849人（1.44%）の減少	
2 秋田県経済の動き	
(1) 製造業の生産動向 （鉱工業生産指数月報（令和2年9月分））	2
秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）	
季節調整済指数 94.9 : 前月比 6.2%上昇（3か月ぶりに上昇）	
原指数 90.7 : 前年同月比 8.3%低下	
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）	
季節調整済指数 91.5 : 前月比 3.9%上昇	
(2) 雇用・労働情勢 （毎月勤労統計調査速報（令和2年9月分））	3
賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出	
現金給与総額 232,714円 : 前月比 7.3%減、前年同月比 3.3%増	
総実労働時間 147.3時間 : 前月比 5.3%増、前年同月比 0.9%減	
常用雇用指数 97.9（平成27年=100）	
: 前月比 0.3%減、前年同月比 3.9%減	
(3) 物価動向 （消費者物価指数（令和2年9月分））	4
秋田市消費者物価指数 102.7（平成27年=100）	
前月比 0.5%上昇、前年同月比 0.1%上昇	
全国の消費者物価指数 102.0（平成27年=100）	
前月比 0.1%下落、前年同月比 同水準	
(4) 景気動向 （景気動向指数（令和2年9月分））	5
先行指数 94.8 前月を0.2ポイント下回り、2か月連続で下降	
一致指数 71.1 前月を1.6ポイント上回り、7か月ぶりに上昇	
遅行指数 89.0 前月を1.5ポイント下回り、3か月連続で下降	
3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国）	6～7

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和2年11月1日現在)」)

(1) 令和2年11月1日現在の県の総人口は 951,083人(男 447,357人 女 503,726人)

となり、前月に比べ 922人(0.10%)の減少となった。

自然増減 902人の減少(出生者 370人 死亡者 1,272人)

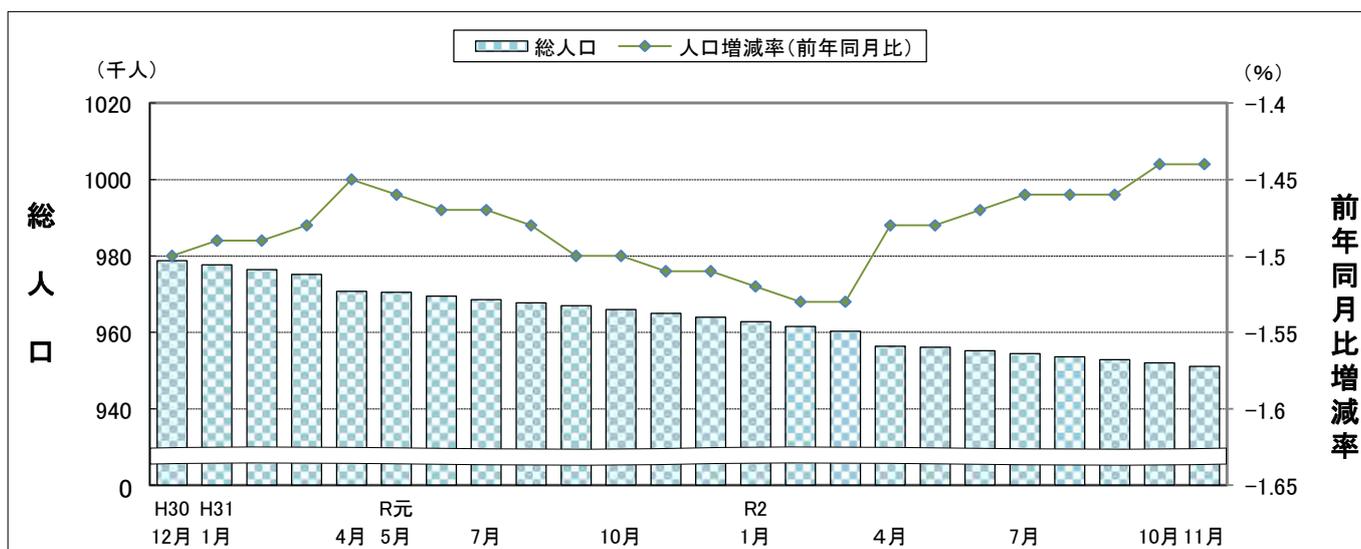
社会増減 20人の減少(県内への転入者 773人 県外への転出者 793人)

(2) この1年間では、13,849人(1.44%)の減少となった。

自然増減 10,957人の減少(出生者 4,484人 死亡者 15,441人)

社会増減 2,892人の減少(県内への転入者 11,892人 県外への転出者 14,784人)

(3) 世帯数は 389,979世帯となり、前月に比べ 28世帯の増加となった。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
R元(2019)年10月	394	1,351	-957	780	818	-38	-995
" 11月	361	1,413	-1,052	769	713	56	-996
" 12月	353	1,401	-1,048	684	787	-103	-1,151
R2(2020)年1月	380	1,529	-1,149	602	734	-132	-1,281
" 2月	331	1,235	-904	643	972	-329	-1,233
" 3月	363	1,336	-973	2,493	5,445	-2,952	-3,925
" 4月	396	1,264	-868	2,106	1,491	615	-253
" 5月	343	1,220	-877	648	653	-5	-882
" 6月	405	1,159	-754	712	744	-32	-786
" 7月	420	1,237	-817	848	874	-26	-843
" 8月	377	1,203	-826	842	756	86	-740
" 9月	385	1,172	-787	772	822	-50	-837
" 10月	370	1,272	-902	773	793	-20	-922
直近1年間の累計 (R元. 11~R2. 10)	4,484	15,441	-10,957	11,892	14,784	-2,892	-13,849

(参考)

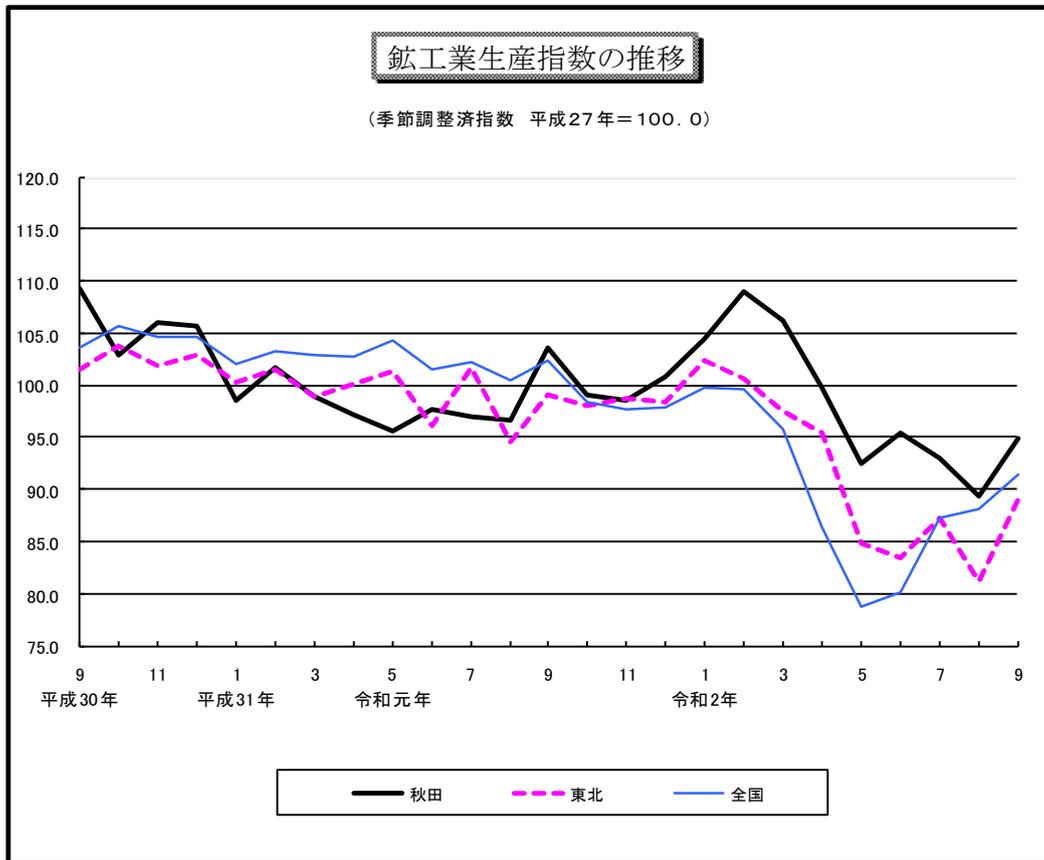
H30. 11~R元. 10の累計	4,793	15,649	-10,856	12,472	16,449	-3,977	-14,833
-------------------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和2年9月分)」)

令和2年9月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が94.9(前月比6.2%増)となり、3か月ぶりに上昇した。また、原指数は90.7となり、前年同月と比べ8.3%の低下となった。

なお、全国の季節調整済指数は91.5となり、前月比で3.9%の上昇となった。また、東北は88.9となり、前月比で9.5%の上昇となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
電子部品・デバイス工業	75.8	12.3	セラミックコンデンサ
化学工業	122.9	9.2	複合肥料
生産用機械工業	86.7	19.1	産業用ロボット
□低下した主な業種			
鉄鋼・非鉄金属工業	74.1	▲ 13.8	電気銅
食料品工業	191.1	▲ 2.5	冷凍調理食品

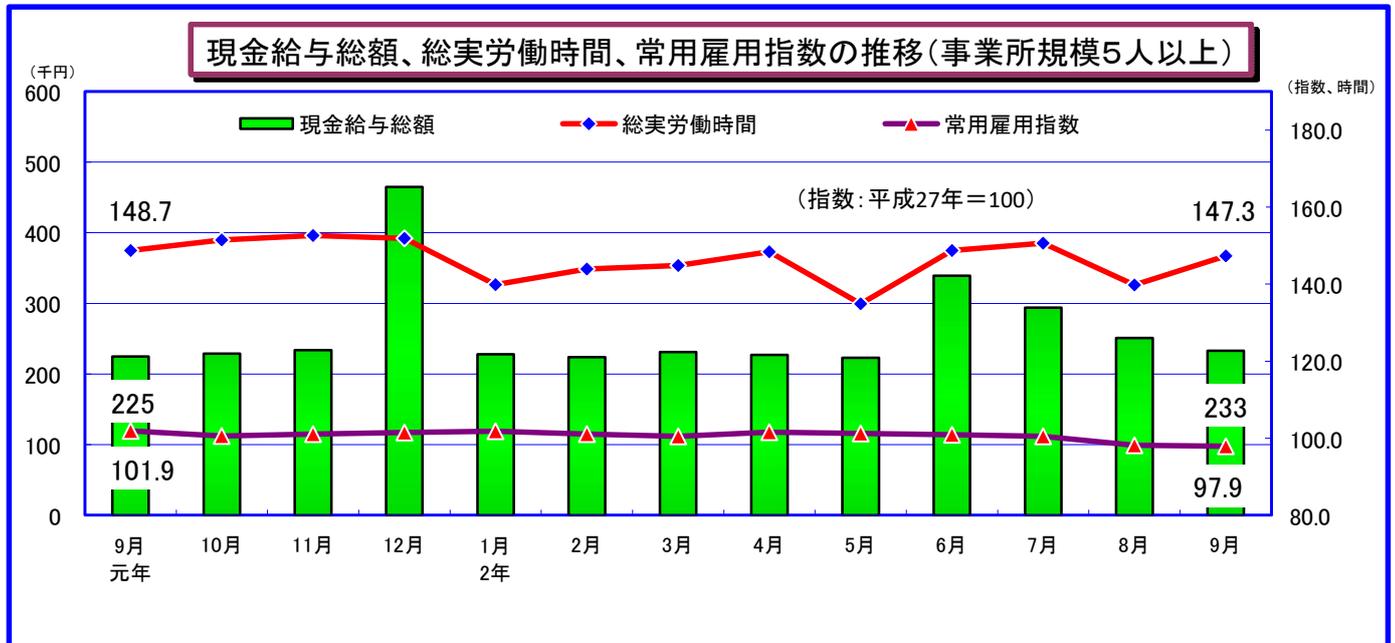
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和2年9月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和2年9月の現金給与総額は232,714円となり、前月比で7.3%の減、前年同月と比べ3.3%の増となった。

総実労働時間数は147.3時間となり、前月比で5.3%の増、前年同月と比べ0.9%の減となった。

常用雇用指数は97.9となり、前月比で0.3%の減、前年同月と比べ3.9%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	178,681	36.3
運輸業、郵便業	333,875	27.7
教育、学習支援業	313,677	16.1
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
複合サービス事業	275,640	▲ 9.7
医療、福祉	230,211	▲ 5.6

2 総実労働時間

増加した主な産業	時間	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	138.8	20.4
教育、学習支援業	141.8	13.4
情報通信業	166.9	9.8
減少した主な産業	時間	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	113.4	▲ 12.9
製造業	156.0	▲ 6.7

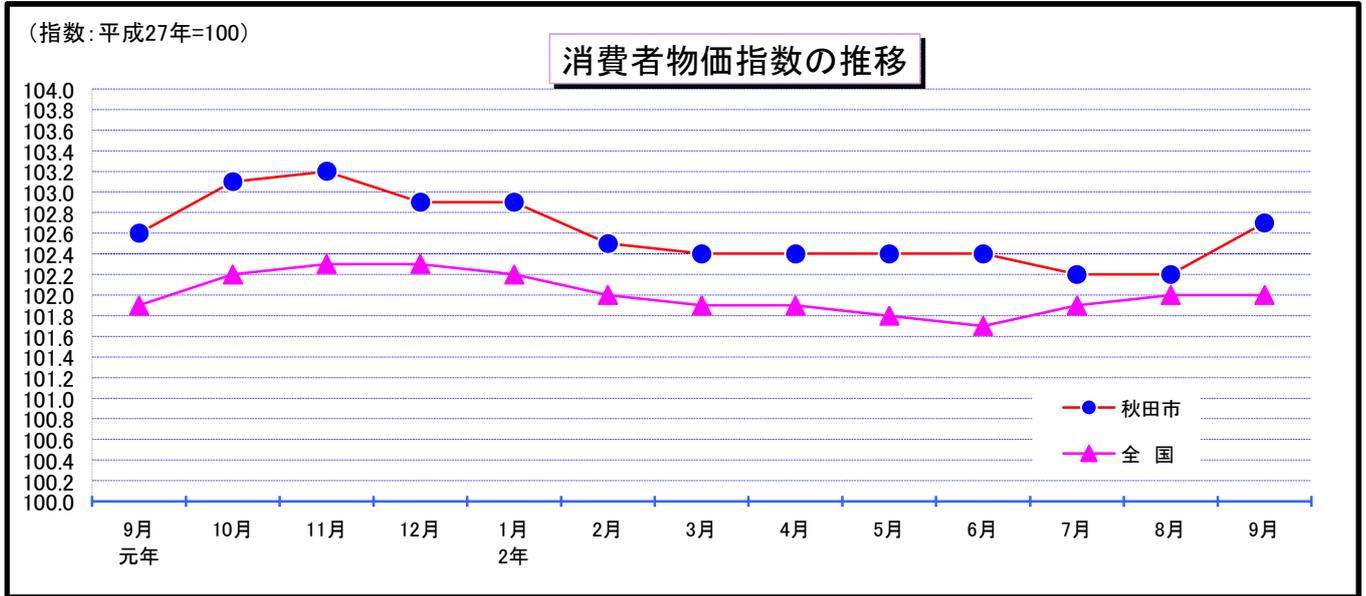
3 常用雇用指数

増加した主な産業	指数	前年比(%)
教育、学習支援業	100.1	4.3
減少した主な産業	指数	前年比(%)
製造業	91.6	▲ 15.3
生活関連サービス業、娯楽業	115.4	▲ 9.9
学術研究、専門・技術サービス業	96.3	▲ 6.4

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和2年9月分)」)

令和2年9月の秋田市消費者物価指数は102.7(平成27年=100)となり、前月比で0.5%の上昇、前年同月比で0.1%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は102.0となり、前月比(季節調整値)で0.1%の下落、前年同月と同水準となった。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	総合				食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	生鮮食品	生鮮食品を除く食料											
当月指数	102.7	102.0	102.2	100.9	108.3	117.3	106.3	101.1	99.9	98.6	106.4	105.0	99.2	100.6	101.7	96.5
前月比(%)	0.5	0.3	0.3	0.2	1.0	3.5	0.4	0.0	0.1	-0.6	4.8	-0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
前年同月比(%)	0.1	-0.4	0.1	0.0	2.2	9.6	0.5	1.4	-2.7	0.2	2.4	0.5	0.2	-8.5	-1.9	-6.2

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食料	生鮮果物	19.8	0.26
住居	設備修繕・維持	7.7	0.22
光熱・水道	上下水道料	1.9	0.04

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
諸雑費	他の諸雑費	▲16.0	▲0.39
教養娯楽	教養娯楽サービス	▲3.8	▲0.21
教育	授業料等	▲13.7	▲0.13

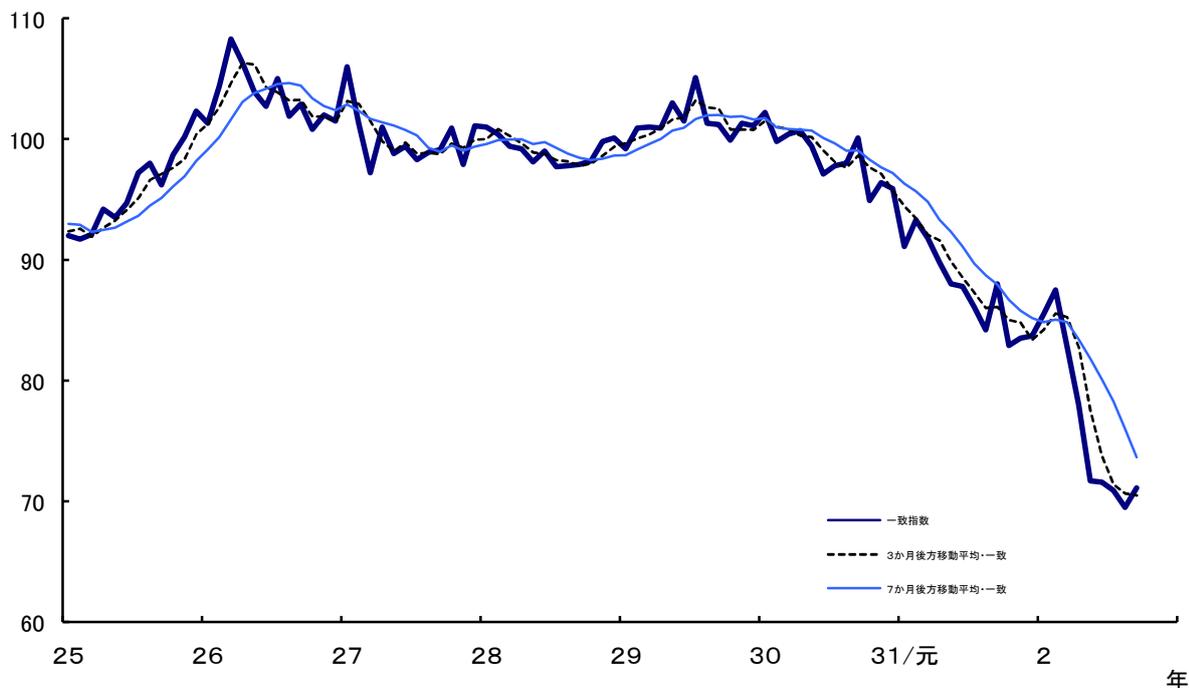
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和2年9月分)」)

先行指数 94.8 前月を0.2ポイント下回り、2か月連続で下降した。
 一致指数 71.1 前月を1.6ポイント上回り、7か月ぶりに上昇した。
 遅行指数 89.0 前月を1.5ポイント下回り、3か月連続で下降した。

一致指数のグラフ

(平成27年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.23	1.23	0.00	-0.03
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	14.5	16.4	1.90	-0.20
所定外労働時間指数(27年=100)	90.9	90.6	-0.33%	-0.02
鉱工業生産指数(27年=100)	89.4	94.9	6.15%	0.99
生産財生産指数(27年=100)	78.5	84.3	7.39%	1.01
百貨店・スーパー販売額(%)	-5.6	-11.8	-6.20	-0.80
投資財生産指数(27年=100)	90.7	95.5	5.29%	0.43
建築着工床面積(千㎡)	73	80	9.59%	0.20
CI 一致指数(全体値)	69.5	71.1	1.6	

景況ダイジェスト（令和2年11月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																																																																													
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和2年11月20日公表	<p>〔概況〕 県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態にあるものの、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要面をみると、個人消費は、サービスを中心に大幅に減少したあと、持ち直している。公共投資は、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、弱い動きとなっている。 ・生産は、緩やかに持ち直している。 ・雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合（秋田市））は、前年を下回った。 																																																																													
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 （産業政策課） 令和2年9月分 令和2年11月12日公表	<p>〔概況〕 県内経済は、個人消費や製造業では、全体として弱含みの動きとなっており、サービス業は、新型コロナウイルス感染症の影響から、低迷が続いている。</p> <p>製造業：木材・木製品などで落ち込みが続いており、全体としては弱含みの動きとなっているものの、一部に持ち直しの動きがみられる。</p> <p>建設業：公共投資は3か月ぶりに前年同月を上回った。</p> <p>小売業：消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられた前年同月を下回っており、全体としては弱含みの動きとなっている。</p> <p>サービス業：新型コロナウイルス感染症の影響から、低迷が続いている。</p> <p>〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲17.2から3.2、現在の資金繰りは▲22.3から▲6.4、3か月先の業況見通しは▲16.6から▲0.6となっている。</p>																																																																													
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和2年9月分 令和2年11月号	<p>〔概況〕 県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるが、全体として厳しい状況が続いている</p> <p>電子部品、機械金属は弱い動きが続いているほか、木材の生産も大幅に落ち込んでいる。建設は、公共工事が前年を上回ったものの、住宅着工は減少傾向が続いている。個人消費は弱いながらも持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。</p>																																																																													
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和2年11月号	<p>〔県内経済概況〕 一部の持ち直しを除き、依然厳しさが色濃く見られる県内経済。</p> <p>最近の県内経済は、足元は公共投資が減少基調に転じており、住宅投資は依然前年を下回り低調に推移しています。また、個人消費は小売業主要業態の販売額が増加傾向を維持しているものの、自動車販売は依然減少傾向にあります。この間、生産活動は主力の電子部品や機械金属の減少もあって低調にとどまっており、雇用情勢は弱含んだ動きが続くなど、県内経済は一部の持ち直しを除き、依然厳しさが色濃く見られます。</p>																																																																													
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和2年9月分 令和2年10月30日公表	<p>〔概況〕 令和2年9月の有効求人倍率（季節調整値）は1.23倍。前月と同水準。 （全国平均は1.03倍、前月を0.01ポイント下回る。）</p> <p>有効求人数（季節調整値）は前月に比べて0.6%減少、有効求職者数（同）は0.2%減少した。</p> <p>① 新規求人数は8,604人、前年同月比3.3%（290人）減少。同比17か月連続で減少した。</p> <p>② 有効求人数は20,847人、前年同月比11.9%（2,822人）減少。同比19か月連続で減少した。</p> <p>③ 新規求職者数は3,473人、前年同月比9.6%（367人）減少。同比12か月連続で減少した。</p> <p>④ 有効求職者数は16,082人、前年同月比3.1%（480人）増加。同比2か月連続で増加した。</p>																																																																													
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 令和2年10月度 令和2年11月4日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"><small>（負債額1,000万円以上の企業倒産）</small></td> <td style="width: 20%;">倒産件数</td> <td style="width: 20%;">2件</td> <td style="width: 20%;">負債総額</td> <td style="width: 10%;">4,000万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年同月比</td> <td>+0.00%</td> <td></td> <td>▲ 83.53%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年同月</td> <td>2件</td> <td></td> <td>2億4,300万円</td> </tr> </table> <p>倒産件数は過去3番目、負債総額は過去2番目に少ない低水準</p>	<small>（負債額1,000万円以上の企業倒産）</small>	倒産件数	2件	負債総額	4,000万円		前年同月比	+0.00%		▲ 83.53%		前年同月	2件		2億4,300万円																																																														
	<small>（負債額1,000万円以上の企業倒産）</small>	倒産件数	2件	負債総額	4,000万円																																																																										
	前年同月比	+0.00%		▲ 83.53%																																																																											
	前年同月	2件		2億4,300万円																																																																											
情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和2年10月分 令和2年11月13日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">〔業界判断指数〕単位：%P</td> <td style="width: 15%;">業界全体</td> <td style="width: 15%;">製造業</td> <td style="width: 15%;">非製造業</td> <td style="width: 15%;">売上高</td> <td style="width: 15%;">収益状況</td> </tr> <tr> <td>9月分DI</td> <td>-66.7</td> <td>-91.7</td> <td>-50.0</td> <td>-65.0</td> <td>-60.0</td> </tr> <tr> <td>10月分DI</td> <td>-63.3</td> <td>-83.3</td> <td>-50.0</td> <td>-56.7</td> <td>-60.0</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>3.4</td> <td>8.4</td> <td>0.0</td> <td>8.3</td> <td>0.0</td> </tr> </table>	〔業界判断指数〕単位：%P	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況	9月分DI	-66.7	-91.7	-50.0	-65.0	-60.0	10月分DI	-63.3	-83.3	-50.0	-56.7	-60.0	比較増減	3.4	8.4	0.0	8.3	0.0																																																						
〔業界判断指数〕単位：%P	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況																																																																										
9月分DI	-66.7	-91.7	-50.0	-65.0	-60.0																																																																										
10月分DI	-63.3	-83.3	-50.0	-56.7	-60.0																																																																										
比較増減	3.4	8.4	0.0	8.3	0.0																																																																										
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和2年10月分 令和2年11月14日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">対前年度増減率 件数62件減少、請負金額39.6%減少 （金額単位：百万円）</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 5%;">区分</td> <td colspan="2">令和元年10月</td> <td colspan="2">令和2年10月</td> <td colspan="2">対前年度増減率（%）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>発注者</td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>21</td> <td>1,787</td> <td>18</td> <td>1,204</td> <td>-14.3</td> <td>-32.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>独立行政法人等</td> <td>4</td> <td>468</td> <td>3</td> <td>174</td> <td>-25.0</td> <td>-62.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県</td> <td>181</td> <td>7,447</td> <td>121</td> <td>4,046</td> <td>-33.1</td> <td>-45.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市町村</td> <td>88</td> <td>2,643</td> <td>88</td> <td>2,017</td> <td>0.0</td> <td>-23.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方公社</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他※</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>19</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>294</td> <td>12,348</td> <td>232</td> <td>7,462</td> <td>-21.1</td> <td>-39.6</td> </tr> </table> <p>※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者</p>	対前年度増減率 件数62件減少、請負金額39.6%減少 （金額単位：百万円）							区分	令和元年10月		令和2年10月		対前年度増減率（%）			発注者	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額		国	21	1,787	18	1,204	-14.3	-32.6		独立行政法人等	4	468	3	174	-25.0	-62.7		県	181	7,447	121	4,046	-33.1	-45.7		市町村	88	2,643	88	2,017	0.0	-23.7		地方公社	0	0	0	0	-	-		その他※	0	0	2	19	-	-		合計	294	12,348	232	7,462	-21.1	-39.6
対前年度増減率 件数62件減少、請負金額39.6%減少 （金額単位：百万円）																																																																															
	区分	令和元年10月		令和2年10月		対前年度増減率（%）																																																																									
	発注者	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額																																																																								
	国	21	1,787	18	1,204	-14.3	-32.6																																																																								
	独立行政法人等	4	468	3	174	-25.0	-62.7																																																																								
	県	181	7,447	121	4,046	-33.1	-45.7																																																																								
	市町村	88	2,643	88	2,017	0.0	-23.7																																																																								
	地方公社	0	0	0	0	-	-																																																																								
	その他※	0	0	2	19	-	-																																																																								
	合計	294	12,348	232	7,462	-21.1	-39.6																																																																								

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和2年10月28日公表	項目	内容					
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる					
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある					
		生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある					
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている					
		設備投資	2年度は減少見込み					
		企業収益	2年度は減益見込み					
		企業の景況感	「下降」超幅縮小					
		住宅建設	前年を下回っている					
		公共事業	前年度を下回っている					
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 2020年9月調査 令和2年10月1日公表	[業況判断D I]		2020年		2020年		2020年	
	単位：%ポイント		6月	9月	変化する	12月(予測)	変化する	
	全産業		-41	-32	9	-29	3	
	製造業		-41	-38	3	-21	17	
	非製造業		-40	-28	12	-33	-5	
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 令和2年9月分 令和2年11月12日公表	全体の動向：厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる 鉱工業生産：一進一退となっている 個人消費：持ち直している 住宅着工：弱まっている 公共投資：横ばいとなっている 設備投資：横ばいとなっている 雇用：弱い動きとなっている 企業倒産：落ち着いた動きとなっている						
		項目	内容					
東北	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 令和2年10月28日公表	総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある					
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している					
		生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある					
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている					
		設備投資	2年度は減少見込み					
		企業収益	2年度は減益見込み					
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小					
		住宅建設	前年を下回っている					
		公共事業	前年度を上回っている					
		全国	月例経済報告 内閣府 令和2年11月 令和2年11月25日公表	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 ・個人消費は、持ち直している。 ・設備投資は、このところ減少している。 ・住宅建設は、弱含んでいる。 ・公共投資は、堅調に推移している。 ・輸出は、持ち直している。 ・輸入は、このところ弱含んでいる。 ・貿易・サービス収支は、おおむね均衡している。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、大企業では一部に減少幅の縮小がみられるものの、全体としては、感染症の影響により、大幅な減少が続いている。 ・企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。 ・倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。 ・国内企業物価は、このところ横ばいとなっている。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。				
企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和2年9月調査分 令和2年10月1日公表	[業況判断D I]			〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計
単位：%ポイント		製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業		
2020 / 6月		-34	-17	-45	-26	-31		
2020 / 9月		-27	-12	-44	-22	-28		
変化する		7	5	1	4	3		